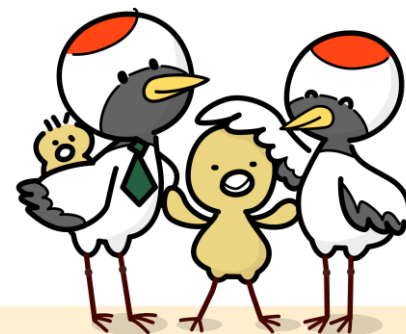




話題 1

釧路市の財政状況及び 事務事業の見直しの 今後の取組みについて

- ・ 見直しの背景と令和7年度の取組み結果
- ・ 結果を反映した今後の財政収支試算
- ・ 令和8年度における取組み内容



事務事業の見直しの背景

要因

少子化

高齢化

人口減少

+

物価高騰

人材不足

必要なサービスの 維持・充実

子育て関連事業

学校教育関係事業

高齢者福祉事業

インフラ維持管理

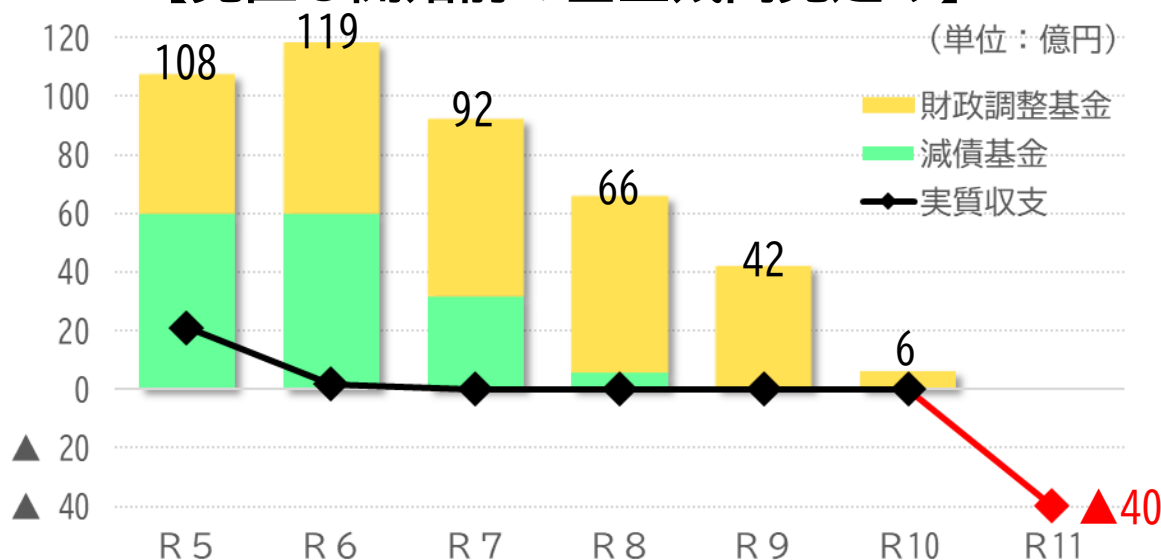
など

釧路市の市政運営に大きな影響



このまま何も手を打たなければ、令和11年度で基金（貯金）がなくなり、赤字決算となる見込み。その後も収支悪化が継続する恐れがあります。

【見直し開始前の基金残高見込み】



市民の皆様にもご協力
いただきながら、
令和7年度から事務事
業の見直しに取り組ん
でいます。

令和7年度における取組みの結果

目標額と達成額

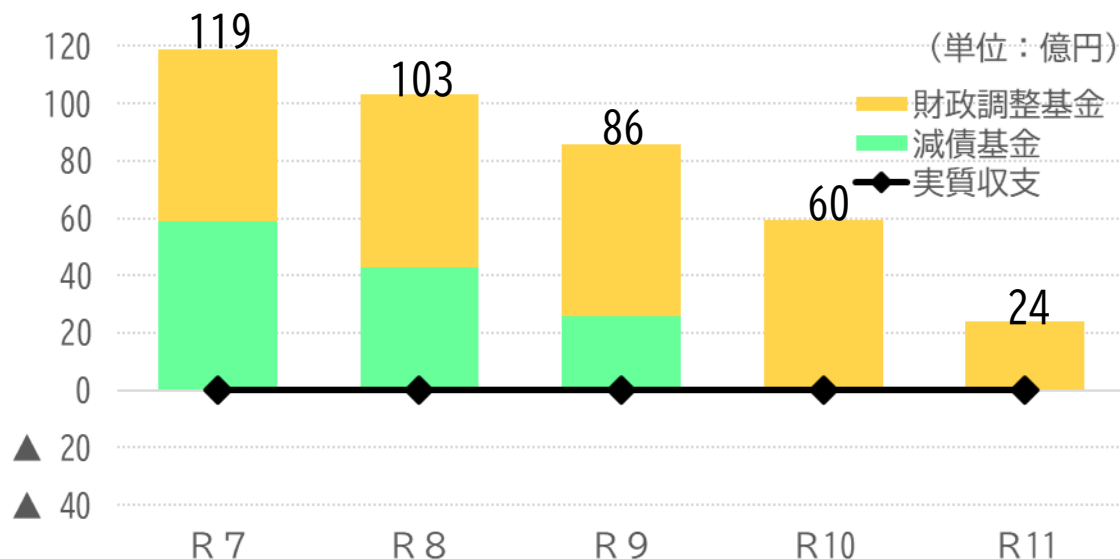
5.4億円 達成

目標額
16億円

残り 10.6億円

令和7年度の見直しの取組み（令和8年度予算に反映）においては、市役所内部の事務経費等を中心に見直しに取り組んだ結果、約5.4億円の効果額が生じたところです。

令和7年度の見直し（令和8年度予算に反映）後の 基金残高見込み



結果を反映した今後の財政収支試算

【今後の収支試算】

(単位：億円)

	R7決算	R8決算見込	R9決算見込	R10決算見込	R11決算見込
歳入（A） （市税・国からの交付税など）	1,057	1,085	1,063	1,072	1,082
歳出（B）※1 （扶助費・施設管理費・人件費など）	1,059	1,101	1,080	1,098	1,117
差引収支（C = A - B）	△2	△16	△17	△26	△35
事務事業の見直し額（D）	0	0	10.6	10.6	10.6
基金繰入金（E） （貯金の取り崩し）	3	16	7	16	25
基金残高（F）※2 （貯金の残高）	119	103	97	81	56

※1 扶助費は子育て関連経費（こども医療費や認定こども園等への給付費）や高齢者、障がい者の方などの福祉サービスに要する経費です。

※2 基金残高は財政調整基金及び減債基金の残高です。

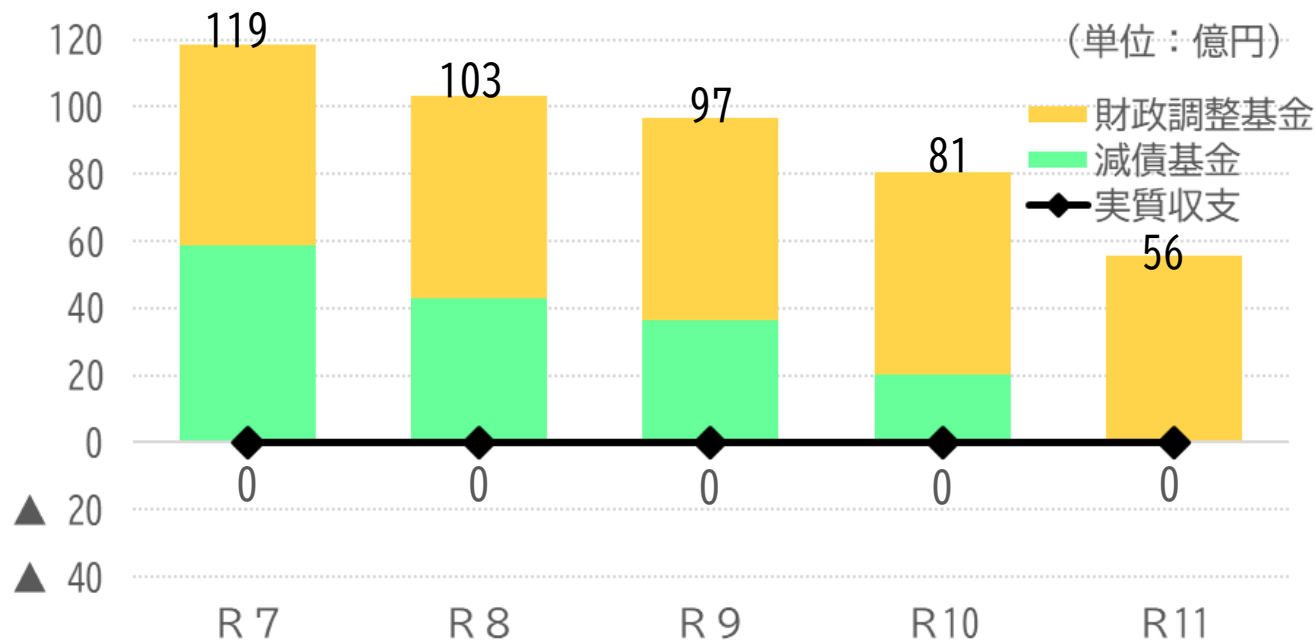
【試算のポイント】

- 令和7年度見直し効果額（令和8年度予算に反映）の約5.4億円等を加味し、収支は見直し開始当時より改善
- ただし、差引収支は依然として赤字が見込まれる
- 基金（貯金）の取り崩しをしなければ収支の均衡が保たれない

今後の財政収支試算をもとにした基金残高

令和8年度の実績では、残りの10.6億円の見直しを行い、その後の持続可能な財政運営に繋げる必要があります。

令和8年度の見直し（令和9年度予算に反映）後の基金残高見込み

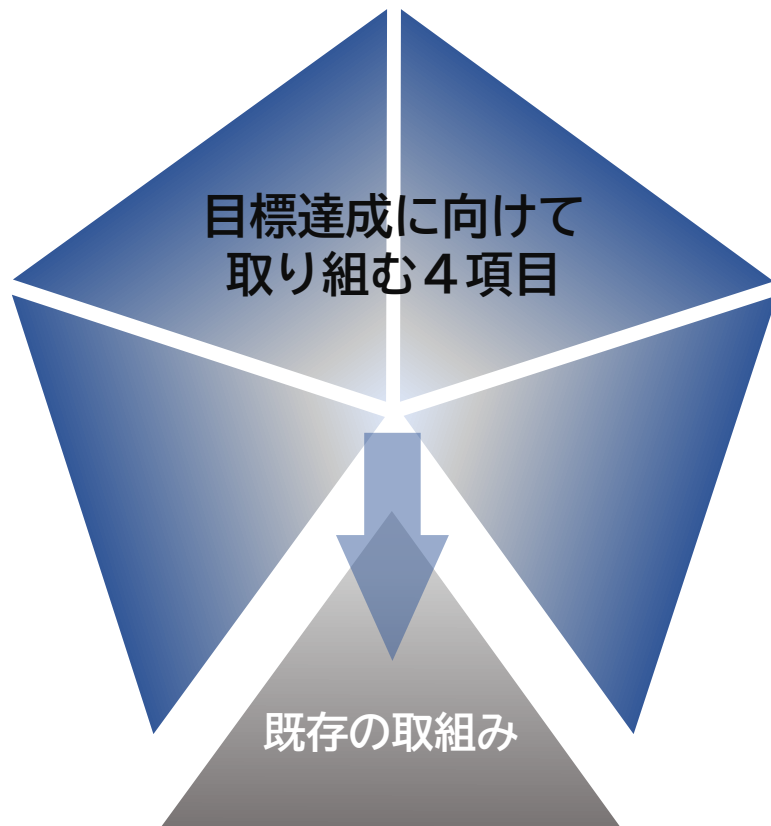


令和11年度末でなくなる見込みとなっていた基金は約56億円の残高となる。

令和8年度における取組内容

令和7年度より取り組みを進めている「内部管理事務や業務、事業の見直し廃止」及び「歳入（自主財源）の確保」に加え、他の4項目についても、目標達成に向けて取り組むこととしています。

取組項目



目標達成に向けて取り組む4項目

使用料・手数料の
見直し

補助金の見直し

公共施設の
見直し

組織機構・定数の
見直し

+

既存の取組み

内部管理事務や業務、事業の見直し廃止、
歳入（自主財源）の確保

使用料・手数料の見直し

施設の維持コストに対する使用料・手数料収入の負担割合を、施設ごとに設定し、料金の見直しをします。

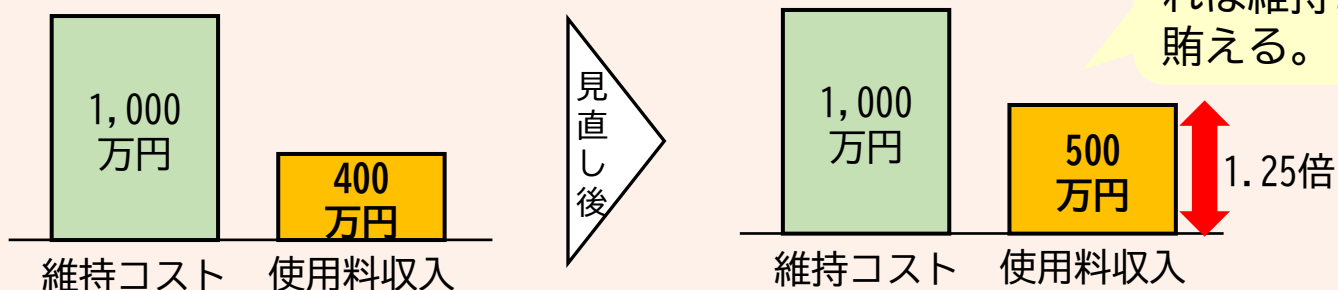
【目標とする負担割合】

使用料

- ①市営でしか提供できないサービスかどうか
 - ②日常生活に欠かせないサービスかどうか
- という2つの観点をもとに、施設ごとに負担割合を定めることを基本とします。

割合	施設の例（案）
100%	観光施設 等
50%	コミュニティ施設、地区会館 等
0%	老人福祉センター 等

見直しの例（目標とする負担割合50%の場合）



使用料収入が1.25倍になれば維持コストの50%を賄える。

手数料

手数料は、特定の方のために行っている事務の際に発生することから、負担割合を100%とすることを基本とします。

※両料金とも見直しの上限は1.5倍とし、下限は1.0倍の現行料金とします。
※今後も原則、4年サイクルで見直しを行います。

補助金の見直し

補助金については、6つの項目に分類し、以下を基本とした見直しを行います。

【見直し金額】

(令和8年度補助金の予算額 - 人件費対象分) × 10%の減額

【見直し対象の考え方】

分 類	内 容	
制度的補助	法令や国・道の基準等に基づく補助	
事業費補助	個人や団体等が行う事業に対する補助	
団体運営費補助	団体等の運営に必要な経費に対する補助	
建設事業費補助	施設等の建設や修繕等に対する補助	
大会開催補助	各種大会に対する補助	
その他補助	上記以外のもの	
		対象外
		対 象

公共施設の見直し

【見直し対象施設の分類と見直し時期】

- ・ 対象となる施設を以下の3つに分類
- ・ 段階的に運営時間等の変更や施設の統合・廃止などの検討を進めます。

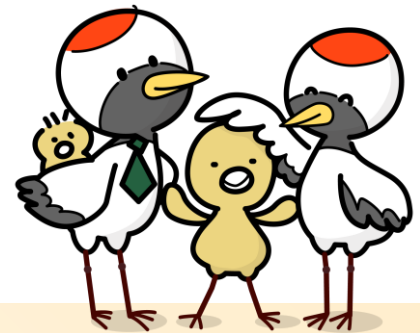
分類	見直し時期
事務事業の見直しにより方向性が決定した施設	令和9年度
課題（制度、代替機能など）の整理が必要な施設	令和10年度以降
見直しにあたり慎重な議論が必要な施設	中長期的見直し



話題 2

創路短期大学の公立化について

- ・ 公立化後の短大の概要・今後のスケジュール
- ・ 周知状況
- ・ 公立化の意義



■公立化後の短大の概要・今後のスケジュール

○短大の概要

学校名	(仮称) 釧路公立大学短期大学部
設置者	公立大学法人釧路公立大学
設置場所	釧路市緑ヶ岡1丁目10番42号 ※現在の釧路短期大学から変更なし
入学定員	1 学年100人 ・生活科学科 生活科学専攻：20人 ・生活科学科 食物栄養専攻：30人 ・幼児教育学科：50人



○今後のスケジュール (予定)

- 2026 (令和8) 年 3 月 設置者変更認可申請 (文部科学省へ申請中)
- 9 月頃 設置者変更認可、入試広報、学生募集
- 11 月 推薦入試
- 2027 (令和9) 年 3 月 一般入試
- 2027 (令和9) 年 4 月 開設

（仮称）釧路公立大学短期大学部

来年 4 月新たに開設 準備中（設置者変更申請中）

あなたの進路の選択肢に釧路公立短大

来年（2027 年・令和 9 年）4 月、新たな短期大学が、釧路にできます。進学先を考えると、「何を学ぶか」は、最も重要ですが、それだけでなく、「どんな未来につながるか」、「どんな先生に学ぶことができるのか」も、とても重要です。少人数制を活かしたきめ細かな学修・就職の支援が得られます。

「地元で学びたい」「早く社会で活躍したい」「確かな実力をつけたい」「自分に合った進路を見つけたい」。そんな思いを持つあなたにとって、釧路公立短大は、可能性を広げる選択肢を提供します。

釧路公立短大の学費

公立大学の魅力の一つは学費です。詳細は、秋に決まりますが、釧路地方の関係市町村※に住所が有る高校

生は、入学料（入学金）が減額される優遇を受けることができます。※関係市町村とは、釧路公立大学事務組合を構成する市町村（釧路市・釧路町・厚岸町・浜中町・標茶町・弟子屈町・鶴居村・白糖町）をいいます。

釧路公立短大での学び

A I に取って代わられることのない、これからの社会で必要とされる力を身につけ、自分らしい未来を築くため、その一歩を踏み出してみませんか。釧路公立短大には、あなたの夢を実現する学びがあります。

学科・専攻と入学定員（予定）

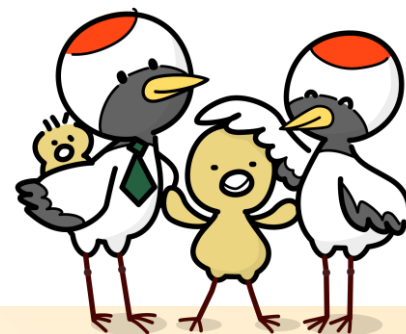
学科・専攻	入学定員
生活科学科・生活科学専攻	20 人
生活科学科・食物栄養専攻	30 人
幼児教育学科	50 人

※記載内容は予定であり、今後変更される可能性があります

話題3

北陽高校移転の検討について

- ・ 移転検討の背景
- ・ なぜ移転検討するのか
- ・ 移転にあたって
- ・ 魅力化、特色化について



北陽高校の移転の検討について

1. 背景

- ・北海道が「公立高等学校配置計画案」を6月に公表
令和10年度の商業高校・明輝高校の再編統合による新設校の校舎を明輝
高校校舎とすることが示される ⇒ 9月にも正式決定される見通し



商業高校が空き校舎に

2. なぜ北陽高校の移転を検討するのか

存続
の観点

①人口減少社会（生徒数の減少）に対応した高校の配置

	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
市内中卒者数	1,209人	1,154人	1,052人	1,030人	995人	962人	918人	782人

👉 令和8年度から15年度までの7年間で中学卒業者数が427人減少

👉 令和12年度から15年度の4年間の見通しとして6～7学級が減少



このことを見据えた高校の配置の検討が必要

2. なぜ北陽高校の移転を検討するのか

公益性
の観点

②子育て世代の人口が多い旧釧路市の西部地区において、高校が完全に無くなることで、市内の高校立地状況に偏りが生じる

※()内は募集学級数

- ・ 東部地域：湖陵高校(5)、工業高校(5)、北陽高校(5)、武修館高校
- ・ 中部地域：江南高校(5)、新設校(5)
- ・ 西部地域：なし

(商業高校)

新設校

江南高校

北陽高校

工業高校

湖陵高校

武修館高校



市内の高校配置図

令和13年度に高校入学する
現小学5年生の地区別人数
(山花、阿寒、音別除く)

西部	中部	東部
354人	317人	259人

2. なぜ北陽高校の移転を検討するのか

防災性
の観点

③人口の多い地域において、避難場所を新たに確保しなければならないという課題が生じる

☞商業高校は大津波警報時の「避難場所」と帰宅困難時の「避難所」に指定

3. 移転にあたって

- ① 移転の時期は令和13年4月
- ② 校舎の状況

商業高校はS53年建設、北陽高校はS61年建設
⇒北陽高校の方が新しいのでは. . .



商業高校はH8年度とH25年度に大規模改修を行っており、
校舎の状態がいい

4. 北陽高校の魅力化・特色化について

「外国語教育や国際教育に重点をおいた特色ある学校づくり」

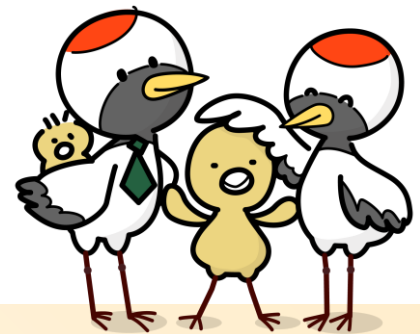
- ・ 景文高級中学（台湾）との相互訪問、オンライン交流など
- ・ 海外研修に係る費用の一部補助

⇒今後の急速な生徒数の減少を見据えた「選ばれる学校づくり」を進める



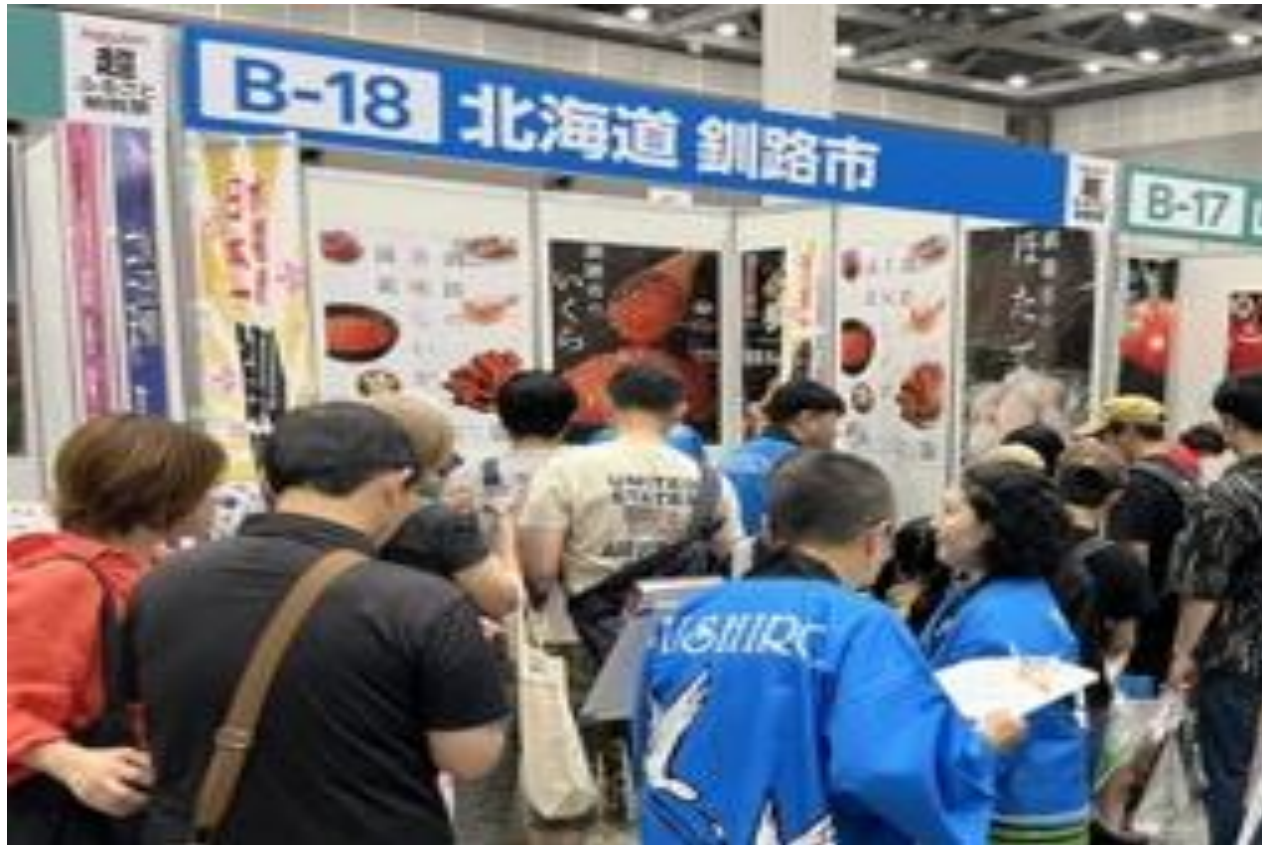
話題4

令和8年度の市の主な取り組みについて



■ふるさと納税推進事業（13億4,473万円）

返礼品の拡充、寄附者への釧路市PR、寄附金活用状況の報告、
ふるさと納税推進業務委託（寄附額 27億円）、
企業版ふるさと納税推進業務委託 等



楽天超ふるさと納税祭の様子

■二地域居住等促進事業（2,535万円）

民間事業者と連携したPRと受入環境整備を行う。
新たに、滞在物件予約システム開発補助、
二地域居住者との交流事業、地域おこし協力隊2名の雇用を実施



北海道移住・交流フェア（東京会場）での相談対応の様子

■市立釧路総合病院新棟建設等事業 (296億7,859万円)

- ・令和9年7月1日開院
- ・7月5日から外来診療開始
- ・改修や外構を含めた工事完了は令和11年度



新棟パース画像 新棟完成図・南西方面からの外観

■津波一時避難場所整備事業・ 避難所環境整備事業（1億4,055万円）

津波一時避難場所整備事業

鳥取南7丁目及び音別町海光1丁目の津波避難場所
に伴う基本・実施設計、大楽毛3丁目高台避難路整備等



令和7年度に完成した
大楽毛南4丁目避難場所

避難所環境整備事業

- ・ スポットクーラー
阿寒地区の避難所へ配置
- ・ ポータブル蓄電池
避難所へ配置

■産後ケア事業（841万円）

産後1年未満の母子が対象。心身のケアや育児のサポートの支援が受けられる。

R8年度より実施機関に
総合病院釧路赤十字病院を加えた。



総合病院釧路赤十字病院

■介護人材確保事業（1,770万円）

介護分野における人材採用及び研修受講に係る経費の一部支援
並びに、新たに資格取得奨励金の支給

■ちびっこマンデー事業（330万円）

釧路フィッシャーマンズワークMOO5階多目的アリーナを
就学前の児童とその保護者に無料開放。

令和7年2月からは「ちびっこマンデープラス」に改称し、
毎週月・水・金の週3回のほか、毎月第3日曜日にも
「ちびっこ3（さん）サンデー」を開催。

■義務教育学校整備事業（15億2,189万円）

小中連携・小中一貫教育の推進と施設一体型の義務教育学校の設置を掲げた「釧路市がめざす学校のすがた基本計画」に基づく事業



大楽毛学園完成イメージ



音別義務教育学校完成イメージ

■ A L T（外国語指導助手）事業 （8,565万円）

A L Tの配置継続と英語教育の充実

■ 学びの多様化学校事業（232万円）

新たに開校する「くしろ創明学園」へのスクールカウンセラーの配置による支援体制の充実 等

■ 空家等対策事業 （1億6,775万円）

空家等対策の推進、不良空家等及び
大規模空き建築物の解体費に対する補助

